

団体名： 大治町商工会

| 事業名 | 事業概要(背景・目的) | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | |
|-----------------------|--|---|----------------------------------|------------------------------------|---|-----|------------------------------------|-------|--|---|--|-----------|-----------|------|---------------|-----|----|-----|-----|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | ABCD評価 | | | 今後の展開・改善点等 | | | | | |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 一般的に経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導を行うことにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。 | 巡回指導 実企業数 197社 延べ指導件数 418件 窓口指導 実企業数 243社 延べ指導件数 727件 課題解決提案件数:42件 経営革新承認件数 3件 | 小規模事業者 | 指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 114.5 %) | | | 指標 課題解決提案件数 (達成度 175.0 %) | | | 巡回・窓口指導では、事業者の支援ニーズに対応した支援指導ができた。課題解決提案指導では、事業者の課題に対して、丁寧な対応に心掛け解決に向けた支援に努めた。 | | 総合評価 A | 事業評価 A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 巡回・窓口相談時、事業者との対応を丁寧に行い、課題の把握に努める。課題解決のため、柔軟な対応・提案を行い事業者の信頼を得られる指導を行う。 |
| | | | | 目標達成度 | A | 必要性 | 実施方法① | 実施方法② | | | | | | | | | | | | |
| 記帳継続指導 | 商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告書の作成指導を行い、必要な税制の知識を習得する意欲を高め適正な税務申告を行うとともに、経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。 | 記帳指導実企業数 37件 (内、機械化委託企業数:37件) 年間指導延べ回数 478回 年間指導日数 169日 | 個人事業主及び経理事務担当者 | 指標 記帳機械化委託事業者数 (達成度 100.0 %) | | | 指標 (達成度 %) | | | 諸帳簿や決算書を作成することにより、事業主が事業内容の把握や金融のために役立てることができた。青色申告特別控除の適用等、適正な税務申告ができた。 | | 総合評価 A | 事業評価 A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 本事業の必要性は高いと思われるため、今後も事業のPRと委託事業所の確保に努める。 |
| | | | | 目標達成度 | A | 必要性 | 実施方法① | 実施方法② | | | | | | | | | | | | |
| 講習会事業 | 多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識の習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。 | 個別講習会:9回 参加延べ人数:91人 集団講習会:5回 参加延べ人数:71人 | 小規模事業者及びその事業に従事する者 | 指標 講習会参加者数 (達成度 92.6 %) | | | 指標 (達成度 %) | | | 記帳指導講習会は、会員加入につながり、申告書作成の便を図るだけでなく、記帳が経営にいかにか大切かを周知する良い機会となった。金融個別相談会(一日公庫)は、公的融資制度を広く周知する良い機会となった。 | | 総合評価 A | 事業評価 A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 記帳指導講習会は、アンケートや各種相談時に、開催日及び時間などニーズの把握に努め、小規模事業者の参加者数の増加を目指す。経営講習会は、話題性や必要性の高い講習会を開催する事で、参加者の増加を図るよう努める。 |
| | | | | 目標達成度 | A | 必要性 | 実施方法① | 実施方法② | | | | | | | | | | | | |
| 若手後継者育成事業 | 若手後継者である青年部・女性部を中心に、中長期的な経営計画を考え、経営理念や経営ビジョンを明確化することにより、経営内容の見直し、顧客ニーズへの対応、新たな事業展開、販路拡大など時代の変化に対応できる企業を目指すことを目的とする。また、小規模事業者持続化補助金申請や経営革新計画作成支援なども行う。 | 経営計画作成支援セミナー 5月8日(水)開催 参加人数:10人 個別相談会 5月15日(水)・27日(月)・ 6月3日(月)・19日(水)・ 7月3日(水)・12日(金)開催 参加延べ人数:17人 青年部全国大会 12月4日(水)~5日(木) 参加人数:3人 | 小規模事業者 | 指標 セミナー参加者数 (達成度 90.0 %) | | | 指標 セミナー受講者の満足度 (達成度 118.6 %) | | | 小規模事業者持続化補助金申請に向けて、経営計画の作成方法を学ぶセミナーを開催し、個別相談会も実施した。補助金申請の手続きをスムーズに進めることができるようになり、採択にもつながり、事業活動に資することができた。 | | 総合評価 A | 事業評価 A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 若手後継者が中長期的な視点に立って経営に参加できるようにするために、セミナー内容の充実を図り継続して実施していく。 |
| | | | | 目標達成度 | A | 必要性 | 実施方法① | 実施方法② | | | | | | | | | | | | |
| 地域振興祭事業(ふれあいフェスティバル) | 商工まつりを開催することにより、その集客力を活かして地域経済活動を促進し、商工会活動等のPRの機会とするとともに、社会一般の福祉の増進に資し、もって地域経済の健全な発展に寄与することを目的とする。 | 11月10日(日)開催 商工会役員、青年部女性部員及び会員による模擬店等を行う、商工会活動をPRした。買物券の利用状況から約200名の会員事業者が来場した。 | 町民及び商工会員(小規模事業者に対し商工会事業のPRの場となる) | 指標 買物券利用額 (達成度 92.3 %) | | | 指標 (達成度 %) | | | 多くの住民と商工会とのふれあいの場となり、商工会活動等のPRの機会となった。 | | 総合評価 A | 事業評価 A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 小規模事業者に対して商工会事業をPRできるよい機会となっているため、イベント内容等を工夫しさらなる集客力向上を図りたい。 |
| | | | | 目標達成度 | A | 必要性 | 実施方法① | 実施方法② | | | | | | | | | | | | |
| 商店街振興事業(街路灯設置・維持管理事業) | 郊外型大型店等への購買力流出などに対応するため、街路灯を設置維持管理することにより、点在する小売店等の活性化、集客力向上につなげ、明るい街づくりを推進する。 | 既設街路灯の電球交換や維持・修繕などに努めた。 ・撤去工事(廃業) 3件 ・修繕工事 2件 | 小規模事業者 | 指標 年間維持管理本数 (達成度 95.9 %) | | | 指標 (達成度 %) | | | 事業所周辺を明るい環境にすることにより、地域振興・街づくりにつながっている。 | | 総合評価 A | 事業評価 A | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 建替希望者を募集する予定。維持管理により、明るい環境・街づくりにつなげていく。 |
| | | | | 目標達成度 | A | 必要性 | 実施方法① | 実施方法② | | | | | | | | | | | | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 大治町商工会

| 事業名 | 事業概要(背景・目的) | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 備考 |
|---------------------------|---|---|---|-------------------------------------|---------------|--|-----------|--|--------------|--------|---|--|--------|----|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | | ABCD評価 | |
| 産業活性化事業 (地域産業資源普及推進事業) | 特産品の販売・PRを通じ、地域活性化を図り、新商品の研究・開発により地域商工業の発展に寄与する。 | 地域特産品開発のために、生産者・大治町役場とも連携し、事業を実施した。 会員事業所取扱いの「モロヘイヤコロッケ」を以下の県内イベントにおいて試験販売を実施した。 ・愛知駅伝「愛知ふるさと市」12月7日(土) | 小規模事業者 | 指標 取扱事業所数 (達成度 180.0 %) | 指標 (達成度 %) | 地域特産品を使った商品を新しく開発するため、行政や関係機関との連携が強化され、事業者の発展に寄与することができた。 | 総合評価 A | 事業実施側の 自己評価 A 調査結果 事業者への 満足度 A 補足 | 目標① 上げる | 目標② | 地域産業資源普及推進のため、取扱事業所の拡大に努める。 | | | |
| 情報化推進事業 | 情報通信技術を活用して、会員事業者等にとって有益な経営情報を取得したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。 | ホームページを作成し、商工会事業や各種施策を掲載。また、会員企業のPRコーナーや会員ホームページ一覧表を掲載した。 年間アクセス件数:17,702件 | 小規模事業者 | 指標 ホームページアクセス件数 (達成度 104.1 %) | 指標 (達成度 %) | 商工会のホームページを通じて多くの人が会員企業のホームページを閲覧し、ビジネスチャンスが拡大した。また商工会活動や最新の経営情報を広く発信することができた。 | 総合評価 A | 事業実施側の 自己評価 A 調査結果 事業者への 満足度 B 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 今後も他団体等のホームページなどを参考に、より利用しやすいものにしていく。 | | | |
| 異業種交流事業 | 先進地や先進企業を視察し、事業に資するアイデアやヒントを得る機会を提供する。また、異業種交流の場も提供する。 | 会員初詣事業 令和2年1月13日(月)開催 参加人数:138人 | 地区内会員事業者 | 指標 参加者数 (達成度 115.0 %) | 指標 (達成度 %) | 会員事業所の交流及び情報交換の良い機会となった。行政担当者等も来賓として参加し、商工会事業をPRできた。 | 総合評価 A | 事業実施側の 自己評価 A 調査結果 事業者への 満足度 B 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 会員事業者に好評であるため、今後とも継続して実施していきたい。 | | | |
| 青年部・女性部事業 (青年部事業) | 若手事業主並びに若手後継者の資質の向上を図る。また、商工会組織の担い手かつ地域振興発展の先導役の育成を図る。青年部活動の活性化を図るため、部員増強運動を積極的に推進する。 | コミュニティ盆踊り大会・商工まつりへの模擬店出店及び運営協力。県青連・全青連・海部地区青年部連絡協議会への参加。 (計34回開催) | 事業を営む経営者・後継者及び従業員で満45歳以下の青年 | 指標 事業参加者数 (達成度 275.3 %) | 指標 (達成度 %) | 講演会等を通じ部員の資質向上を図り、若手後継者の育成に資することができた。 | 総合評価 A | 事業実施側の 自己評価 A 調査結果 事業者への 満足度 A 補足 | 目標① 上げる | 目標② | さらなる部員満足度向上のため、事業内容の拡充に努める。 | | | |
| 青年部・女性部事業 (女性部事業) | 商工業に携わる女性の資質向上を目的とする。女性部活動の活性化を図るため、女性部増強運動を積極的に推進する。 | 部員研修会、ボウリング大会、経営講演会の開催。コミュニティ盆踊り大会・商工まつりへの参加協力。 県女性連・全女性連・海部地区女性部連絡協議会への参加。 (計23回開催) | 事業を営む経営者若しくはその配偶者及び親族であって、その事業に従事している女性 | 指標 事業参加者数 (達成度 135.9 %) | 指標 (達成度 %) | 研修会や講演会を通じ部員の資質向上が図られ、情報交換の場としても大いに活用された。 | 総合評価 A | 事業実施側の 自己評価 A 調査結果 事業者への 満足度 A 補足 | 目標① 上げる | 目標② | 組織強化のため部員数確保に努める。 | | | |
| 部会・委員会事業 | 先進地や先進企業を視察し、事業に資するアイデアやヒントを得る機会を提供する。また、異業種交流の場も提供する。 | ・視察研修会(法人会合同) 7月7日(日)開催 参加人数:22人 ・視察研修会(青申会合同) 10月9日(水)開催 参加人数:6人 ・会員の事業を広く町民にPRするため、事業主が講師となり「体験教室」を実施した。 8月10日(土)・12月3日(火)開催 参加人数:24人 | 地区内会員事業者 | 指標 事業参加者数 (達成度 104.0 %) | 指標 (達成度 %) | 研修会を通じ、会員事業所の交流が図られ、異業種交流に機会にもなり、ビジネスチャンスが広がった。会員紹介事業は、実際のサービスを手軽に体験できる機会となり、チラシやSNSだけでは伝えきれない魅力を発信する良い機会になっている。 | 総合評価 A | 事業実施側の 自己評価 A 調査結果 事業者への 満足度 B 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 町内企業の交流が図れる事業を開催していきたい。 | | | |
| 福利厚生事業 | 中小企業、小規模企業の経営及び雇用の継続的な安定を図るために、各種共済の普及に努め、企業の健全な育成に資することを目的とする。 | 各種共済加入者数 小規模企業共済 174人 倒産防止共済 12人 中退金共済 15人 中小企業共済等 467人 事業主及び従業員を対象にした集団健康診断を実施した。 9月10日(火)開催 事業所数:28企業 受診人数:74人 | 小規模事業者及びその事業に従事する親族と従業員 | 指標 各種共済加入者数 (達成度 102.0 %) | 指標 (達成度 %) | 節税効果の高い小規模企業共済等の加入促進を図り、小規模事業者の安定的な経営に資することができた。また事業主のけが等に対応するための中小企業共済制度についても広く普及を図ることができた。 | 総合評価 A | 事業実施側の 自己評価 A 調査結果 事業者への 満足度 A 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 中小企業共済の経営者医療共済については、事業者の特化した商品であるため、広く周知し加入増加を図りたい。 | | | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 大治町商工会

| 事業名 | 事業概要(背景・目的) | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|-----------|--|---|--------------------|-----------------------------------|------|-----|--|-------|-------|---|-----------|--------|------|---------------|-----|------------|-------|-----|--|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | ABCD評価 | | | | | 今後の展開・改善点等 | | | |
| 労働保険事業 | 事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。 | 労働保険事務委託(年度末) 事業所数: 63件 従業員数: 219名 | 労働保険の事務委託を受けている事業所 | 指標 委託事業場数 (達成度 96.9 %) | | | 指標 (達成度 %) | | | 事業者にとって煩雑な事務手続きを商工会に委託することにより事務の軽減が図られた。 | 総合評価 A | 事業実施側の | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 労働保険制度の内容を広く周知するとともに、今後も委託事業所の確保に努めたい。 |
| | | | | A | B | A | 現行どおり | | | | | | | | | | | | |
| 青色申告会・法人会 | 青色申告会・法人会の税務支援・地域貢献の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。 | 青申会事業 【税務研修会】 10月9日(水)開催 参加人数: 11人 法人会事業 【合同研修会】 7月7日(日)開催 参加人数: 10人 【ふれあいフェスティバル】 11月10日(日)開催 参加人数: 12人 【ねんぐ祭】 11月23日(土)開催 参加人数: 6人 | 青色申告会及び法人会の会員 | 指標 青色申告会事業参加者数 (達成度 55.0 %) | | | 指標 法人会事業参加者数 (達成度 15.6 %) | | | 青色申告の普及推進を図り、税の正しい申告・納税意識の向上に役立つことができた。 法人会においては、社会貢献事業ねんぐ祭など、津島法人会本会などと協力して実施し、多くの事業者や住民に対し、法人会の公益性をPRすることができた。 | 総合評価 B | 事業実施側の | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 事業参加者を増やすことにより、青申会・法人会をPRし、商工会活動の活性化につなげる。 |
| | | | | B | B | 必要性 | 2/22(土)開催予定だった福祉講演会について、コロナウイルス感染症の被害拡大をうけ中止となったため、目標達成には至らなかった。 | 現行どおり | 現行どおり | | | | | | | | | | |
| | | | | 目標数値 | 実績数値 | 63 | 目標数値 | 実績数値 | | | | B | 必要性 | A | | | | | |
| | | | | 目標数値 | 実績数値 | 11 | 目標数値 | 実績数値 | 180 | 実績数値 | 28 | D | A | | | 現行どおり | 現行どおり | | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。